

野洲市の
防災計画

地震発生規模、原発事故を想定した 速やかな見直しを

東日本大震災から4カ月を超えましたが、福島原発事故はいまなお収束の兆しが見えません。原発からの撤退とともに、現在、不十分な野洲市防災計画の見直しは急務です。

現在の『野洲市防災計画（地震編）』では、本市で最も大きな被害が予想されているのは「琵琶湖西岸断層帯（高島市・大津市）」で発生する地震を想定しています。

地震の規模は「マグニチュード7・8」。地震の揺れを示す「震度」は、JR琵琶湖線沿の市内中心部で「震度6弱」となっています。この地震規模想定に基づき「野洲市市防災計画」が策定されています。

現防災計画の震度模想定は震度6弱。検証が必要です。

この想定根拠は過去の地震発生統計を中心としています。

これに対して、東日本大震災はマグニチュード9・0でした。野洲市でも地震の規模が現在の想定より大きくなる可能性や「複数地震の連動性」も考慮して、野洲市全体が「震度6強から7」の地震が発生するなど、最悪の事態を想定した防災計画に見直し

すことが求められます。

原発事故対応は事実上なし
原発撤退と計画の見直しを

防災計画で緊急に見直しが求められるのが「原発事故」の対応です。野洲市の場合、福井県にある原子力発電所から60〜70kmです。原発で事故があれば最短で1時間で放射能が飛散してきます。

ところが、現在の野洲市防災計画の原発事故に関する部分の主なものは、事故に対しての「市民への情報周知」等ぐらいです。

今回の福島原発の事故を見れば、「最悪の事態」を想定した防災計画とすべきです。

原発事故は、台風・水害や火災対応と異なり、緊急かつ広域避難対策、また中長期の対策が必要となります。

必要なことは、「原発からの撤退」を進めるとともに、市民の命と暮らしを守る立場から、速やかな見直しを行うべきです。



農業委員選挙無投票で 梅影英治さん再選

7月3日告示の農業委員選挙は無投票となり、共産党推薦の梅影英治さんが再選（3期目）されました。

農家の立場で実現をめざします

TPP参加に反対し、野洲市農業を守ります
価格保障と所得補償で安心できる農業を求めます
農業振興条例を制定し、野洲市農業を再生します
鳥獣被害の防止対策をすすめます
政府の農業委員会解体方針に反対します

7月12日
臨時市議会

議会推薦で3氏を選任

臨時市議会が7月12日開催されました。本会議では議会推薦として3名を選任しました。これで選挙選出18名、団体推薦3名、議会推薦3名の合計24名の委員の農業委員が決まりました。



【ご意見・ご要望は】 梅影英治へ（電話）587-3205

選挙選出	西本彌明 岩井孝英 岩崎真治 井狩洋子 中村 正 岩田正昭	橋本 榮 澤本保和 北脇眞治郎 中村安司 木村守一 南井耕治	中野與一 高田貞行 吉川久和 小林寿男 川端正弘 梅影英治
団体推薦	岩崎文男	田中弘一	田中潤吉
議会推薦	尾場半右衛門	清水三夫	鍛冶政男

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2011年7月24日 221

暮らしのご相談を
お寄せください

小菅六雄 比江668-3 (電話・FAX)589-4971
野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX)587-0985
太田健一 近江富士2-11-25 (電話・FAX)588-3169

市議会ホームページ
<http://www.yasusigi.net/>